

佐世保市市民栄誉賞受賞者名簿

NO	表彰年月日	氏名	職業・所属等 (表彰当時)	受賞理由
1	平成17年1月7日	じょうじま けんじ 城島 健司	メジャーリーグ・シアトルマリナーズ	平成16年夏開催された「アテネオリンピック」野球競技において全日本代表チームの中心選手として活躍し、メダル獲得の立役者となる。また、平成15年度のパ・リーグ最優秀選手に選ばれるなどプロ野球選手として活躍する傍ら、児童養護施設等への訪問や少年野球教室の開催などを通し、市民とりわけ次代を担う子ども達に夢と希望を与え続けている。
2	平成19年1月11日	いのうえ ひろあき 井上 博明	九州文化学園高等学校 バレーボール部監督	九文バレーボール部監督として、全国大会で10度優勝に導いており、特に、平成16年には春高バレー、インターハイ、国体の3大会で優勝するという三冠を達成。また、平成18年度には国体の少年女子バレーボールで史上初という3連覇を成し遂げるなど、同部を全国トップレベルのチームに育て上げ、学校名はもとより佐世保市の知名度の向上に貢献している。 また、氏は他校の生徒を招いての実技指導、各地の講演会での講師を行うなど、同校の生徒ばかりでなく地域のバレーボール選手の育成に努められている。
3	平成24年8月29日	はやかわ れん 早川 漣	長崎県スポーツ専門員	ロンドンオリンピック競技大会アーチェリー女子団体における中心選手として活躍し、団体では日本初となる銅メダル獲得に多大なる貢献をされた。 今大会の活躍は、日本のスポーツ界はもとより多くの市民に勇気と感動を与え郷土の誇りとして本市の知名度の向上に大きく貢献し、指導者の立場からも本市アーチェリー競技の普及と発展に努められている。
4	令和3年11月22日	ふじた やまと 藤田 倭	ビックカメラ 女子ソフトボール高崎	令和3年に開催された東京2020オリンピックでソフトボール女子日本代表として出場し、投打にわたる活躍で金メダルの獲得に大きく貢献された。 大会では初戦から三試合連続で本塁打を放ち、決勝戦では勝利打点を上げるという輝かしい成績を収め、最優秀選手賞（MVP）に選ばれている。 投打二刀流の素晴らしい活躍と最優秀選手賞という世界の評価は郷土の誇りであり、未来の佐世保を担う子どもたちの目標として光り輝くものである。
5	令和5年8月27日	おがわ けいた 小川 慶太	ドラム・パーカッション 演奏者	バンド「スナーキー・パピー」のメンバーとして2017年、21年、23年に米国最高峰の音楽賞であるグラミー賞を受賞した。 世界中のステージで演奏を重ねながら、「させぼJAZZ」や「させぼ文化マンズ」の凱旋ライブでは進化し続ける世界最高水準のパフォーマンスを披露し、「JAZZの街 佐世保」を牽引する音楽家として市民に大きな刺激と感動を与え続けている。